

平成21年度第3回中原区区民会議

平成21年度第3回中原区区民会議が開催されました。

会議では、課題調査部会報告、運営部会報告、これまでの審議課題に対する取り組みによる各報告の後、都度委員の方々による意見交換が行われました。

会議の内容は次のとおりです。

日時・会場など

平成22年1月14日（木）午後2時から午後4時6分まで

中原区役所5階会議室

会議の傍聴人 5名

会議次第

- ・開会
- ・会議録確認委員の選任
- ・議題
 - (1) 課題調査部会報告 ～課題解決に向けた取り組みの提案及び意見交換～
 - (2) 第2期検討テーマの進捗状況報告について
 - (3) これまでの審議課題に対する取り組みについて
 - (4) 区民会議交流会について
- ・閉会

(1) 課題調査部会報告 ～課題解決に向けた取り組みの提案及び意見交換～

<竹井副委員長から11月13日の課題調査部会の報告>

- ・地域の中で大切に守り、次世代に伝えていきたい魅力、区外の方々へアピールしたい中原区の魅力、お気に入りの場所、思い出の場所、自慢に思うことについて、アンケートを踏まえ意見を伺った。
- ・中原区は観光地ではないので、区民が中原区を誇りに思っていることを共有しなければいけない。また、魅力を支えている人や作り出している人々にスポットを当てるべき。新住民に中原区の魅力や歴史をPRし、区役所を使用しての魅力スポット写真展などを開いてみてはどうか。そうすることで、町に愛着を持ち、町を大事にする気持ちが生まれ、結果、ボランティア活動、地域の活動等、「まちの魅力を見つける」到達点の1つになればと考える。
- ・区制30周年を記念してつくられた「この街のどこが好き？ なかはらの歌」を各種イベントで使用し、認知度を高めていきたい。

- ・以下、写真、中原区魅力紹介冊子、映像、地域の音楽資源を活用した、市政だより中原区版による魅力の発信・共有等、各種の魅力発信・共有の方法を資料としてまとめたので、これらを活動の指標としたい。
- ・二ヶ領用水竣工400年記念事業と連携した魅力の発信・共有として、二ヶ領用水は平成23年に竣工400年を迎える。実行委員会形式でのイベント等も計画されているようなので、自然財産保護の面からもアピールしていきたい。さらに、これを契機に「歴史と緑の散策マップ」を改訂していきたい。

<委員からの主な意見・提案>

- ・中原区の先祖、先住民にもっと目を向けなければならないのではないか。
- ・人間対人間の関係が希薄になっている。昭和15年、16年当時は、回覧板により人間対人間のきずなが保たれていた。中原区の魅力の1つとして、ほかではまねのできないような回覧板を考えてみてはどうか。
- ・年寄りを集めたコミュニティを設けても、主催者にリーダーとしての資質がなければ、年寄りとはいえ、すぐあきてしまい、長続きしない。リーダーたる者、話術巧みに、1時間でも2時間でも手の内で転がせられるような資質が問われるのではないか。
- ・中原街道時代まつりのような歴史、文化を大事にしていきたい。
- ・中原区は非常に緑が多く、今後また住民が増えるように思う。新住民にぜひ多摩川を含めた中原区の歴史的な魅力を伝えていきたい。
- ・横須賀線新駅の完成により、新住民の転入に拍車がかかるのではないか。ただ、転入者が多いというのは、イコール区としての魅力云々にうとい、また知らない方が多いことを意味する。回覧板を回したくとも、最近のマンションはセキュリティが非常にきついため、今後どのように広報活動をしていくか、考える必要がある。町並みがきれいになったことは歓迎するが、同時に土地の人が少ないことも事実なので、今後の広報活動は一番重要になるのではないか。
- ・さまざまな魅力は情報による知識のみでなく、実際にその場に行く体感が必要である。魅力ある場所に行く気にさせる、できれば仲間を誘って行く気にさせるような方法を検討すべきである。市政だよりに掲載されていたすごろくのように、行った気にさせる、実際に行ってみたい、仲間と一緒に行く気にさせるような遊び心を取り入れた発信方法が大切である。
- ・新住民に区民会議だよりを見せたところ、非常に驚いていた。素晴らしい魅力がたくさん詰まっている中原を我々はもっと真剣に考えてPRしていかななくてはいけない。
- ・魅力ポイントマップを見て、余りに魅力が多過ぎて、收拾がつかないと感じた。

中原区にあまり詳しくない人向けにはポイントを押しえたもの、ベテラン向けには穴場を押しえたものの2段階で紹介すると皆が楽しめるのではないかな。

- ・町の魅力のエピソードコンテストなどを開催することも町の魅力を伝える1つになると思う。
- ・魅力ポイントマップ上、玉川地区のポイントが少ないように感じたので、野口家の水車、平間の七まがり道を提案させていただいた。これを契機に、歴史的分野、それに伴う立て看板や説明看板等の設置要望など、区民会議でも取り上げていただきたい。ガス橋や平間の渡しもぜひ後世に知らせていきたい。そのためにもぜひ力をおかしいいただき、ご指導願いたい。
- ・下小田中の安楽寺には、中原の教育の始まりと言われている自習塾で使用されていた経机がまだ現存する。ぜひこれも取り上げていただきたい。
- ・等々力緑地は単なる多摩川の三角州だと言う人もいるが、当該地は瀬がえという人的行為の結果である。その後、砂利を取った穴が池になってしまい、埋め立てたことにより緑地となったという歴史的な経緯も絡んでいることに非常に魅力を感じる。単に現存する地形的な面だけで意見するのではなく、その内面を紹介できるようになればよいのではないかな。
- ・魅力ポイントマップにしても、区民会議だよりもにしても、中身に異を唱える方はこの場にはいないと思う。しかし、これら資料を小中高校生も我々と同じ気持ちで見るといえば、そうではない。大人が調べ上げた地元の財産を子どもたちに伝える意味からも、区内の学校や幼稚園などに配布願いたい。
- ・本当の意味で、20代、30代、40代の人々が憩える場所が武蔵小杉周辺にあるかといえば、そうではない。財布のひもを緩めようとするれば、大方武蔵小杉、中原から出ていくのではないかな。そうならないためにも、区民会議として、魅力を見つけ出すことに加え、魅力をつくり出す努力という項目をぜひ設けていただきたい。例えば「音楽のなかはら」「スポーツのなかはら」「文化のなかはら」「健康づくりのなかはら」「子育てのなかはら」「ボランティアのなかはら」等、次世代に我々がつくり出せるものを考えるような機運づくりをしていただきたい。
- ・私が小学生のころは、丸子橋の渡し近辺のオートレース場で花火大会が開催されるたびに陣取り合戦をしたり、向河原駅は大半がサツマイモ畑、井田山は雑木林だけだったのに、還暦を過ぎた現在、これだけの変化があることを本当に嬉しく思う。二ヶ領用水の桜並木等、中原には歴史を感じる魅力がたくさんある。
- ・再開発にあわせ、文化や歴史をはぐくみ大事にしていく心も大切であるが、社会福祉協議会の役員としては福祉のまちづくりを進めていただきたい。ぜひ協力願いたい。
- ・魅力とは、1人1人の価値観によるところが多々あるので、新しく転入、転居さ

れてくる方々に魅力ポイントマップをお渡しすることはとても大切である。

- ・私は、きずなを1つのテーマとして考えている。町会や学校の集まりがかた苦しいようなら、趣味を通じたきずなを結べるような提案も重要ではないか。趣味を通じたコミュニティやサークルに参加したいと思わせるにはどうしたらよいか、各サークルで考えることが非常に重要である。
- ・町の魅力は、関心別、年齢別、分類別で多種多様なので、その面からも1度アンケートをとってみてはどうか。
- ・新駅ができることにより、悪い温床が入ってこないよう注意すべきである。同時に、中原が東京や横浜に通う方のただの通過点とならないよう、魅力を発信する努力を続けなければならない。
- ・「この街のどこが好き？ なかはらの歌」を課題調査部会で中原区の魅力の1つにつけ加えてほしい旨、提案したところ、まず商店街からPRせよとの話があったので、中原区商店街連合会正副会長会議、商店街会長会議でCDを紹介したところ、好評であった。また、歳末売り出しの抽せん会の席上でお客様にCDを紹介したところ、これまた非常に好評であった。
- ・中原区の小中学校PTA会長による情報交換会を開催したところ、地域地域における言い伝えの伝承を聞くことができ、それをまた子どもたちに話すことができた旨の報告があった。ただ、席上、人口増加に伴う子どもたちの増加により、近隣で騒音問題が浮上し、暑い体育館の中、窓もあけずに授業を行っているとの報告もあり、非常に心配している。平成22年度の西中原中学校のように1クラス40名の12クラス編制が確定している学校もある。加えて、運動会などの行事でも音響が使えず、閑散としているような状態にあるので、問題解決に向けてお力添え願いたい。
- ・中原区は、ハイテク企業、研究所が集中しており、富士通の研究開発、生産工程もすべて中原区が発祥の地である。
- ・「なかはらの歌」は非常によい歌なので、まずは富士通の合唱部やブラスバンド部等で披露させていただき、その後、ほかの会社でも実施できるようであれば働きかけていきたい。
- ・富士通労働組合員が「開運！ なんでも鑑定団」に中原区の歴史、魅力について投書したところ、TV局より色よい返事をいただけたが、その後、頓挫している。一個人の力ではどうしようもなく、手をこまねいている状況であるが、中原区を広く宣伝することのできる仕組みの1つとして検討願いたい。
- ・中原区には大きなハイテク産業がたくさんあるが、小さな事業所も大学と連携して製品開発するなど必死に頑張っている。そのような形のないものを次世代に伝え、等々力ないし中原で就職したいと思ってもらえるような町になれば活気も出

てくるのではないか。

- ・学校の騒音の話聞き、とても腹立たしく感じている。子どもの声を騒音と感じる人もいるようだが、かつては皆子どもだったのだから、目くじらを立てず、また学校側も萎縮せず、むしろ近隣に積極的に声がけをすることにより理解を得ることができるのではないか。
- ・保育園が足りないので、子育てしやすい町という視点からも、ぜひそのような施設整備も他区に先駆けてやってもらいたい。

(2) 第2期検討テーマ進捗状況報告について

<事務局から「地域で取り組む放置自転車問題」の取り組み事項の進捗状況についての報告>

- ・自転車利用者に対するマナー・モラル啓発活動では、啓発用チラシの各戸配布、関係団体への配布、コンサート等のイベント会場での配布を、また、放置自転車台数調査を武蔵小杉駅から新丸子駅周辺まで拡大している。
- ・子どもたちに向けて、とどろき水辺の楽校、カヌー教室等で自転車のマナー講座を行っている。また、丸子地区商店街連合、中原区商店街連合会での放置自転車対策の取り組みや、商店街で検討いただくための資料を配布している。
- ・区民と行政の協働による取り組みでは、中原区と関係各団体とが協力し、マナー・モラルの啓発に必要な物品貸与、東電横の臨時駐車場閉鎖に伴う新駐輪場への誘導、駅周辺の放置自転車対策の調査、昨年4月の交通安全運動キャンペーンに取り組んでいる。

<事務局から「これからの地域コミュニティづくりを考える」の取り組み事項の進捗状況についての報告>

- ・地域コミュニティの場の創出についてのアンケートを実施し、現在集計中である。本年度中には情報提供を開始していきたい。
- ・「あいさつ」の実施によるコミュニティづくりでは、ポスター、区民会議ホームページにおいて取り組みを広く広報している。また、区民会議委員の所属母体の会合でもポスター等を配布し、周知への取り組みを実施している。
- ・地域コミュニティ活性化のための事業では、3月13日の横須賀線武蔵小杉新駅の開業に合わせ、地域交流促進イベントの実施を計画している。
- ・商店街コミュニティ事業の充実では、中原区商店街連合会と区役所が連携し、新城商店街においてマナーアップポスター展を、法政通り商店街、平間銀座商店街においていいなかプロジェクト、その他各商店街において地域資源を活用したコミュニティ事業を実施する予定である。

- ・市民活動の充実では、7月実施の市民活動の集いで、「交流」をテーマに、実行委員会と各団体、中原区役所で協働して取り組んだ。また、来年度に向けての準備もしている。
- ・小杉駅周辺再開発地区等における地域コミュニティづくりの充実では、各団体と中原区役所が連携して、講演会やワークショップ、啓発用リーフレットを配布して取り組みを進めている。
- ・町内会・自治会活動を活性化するための支援では、中原区役所、中原町内会連絡協議会、また各団体と連携して、町内会・自治会加入促進用パンフレットの配布等に取り組んでいる。
- ・その他の課題として、ボランティアの参加促進策として今後の参考意見として報告書に記載するとともに、区民会議で取り上げた課題解決の取り組みの窓口となる組織の検討については、引き続き検討する旨、報告しておきたい。

(3) これまでの審議課題に対する取り組みについて

<竹井副委員長から「環境」の取り組みについての報告>

- ・3月13日の中原区地域交流推進イベントで環境関係の展示等々を行う予定である。
- ・6月5日の世界環境デーに合わせ、6月13日（日）に（仮称）「環境デー2010 in なかはら」を主催したい。
- ・2010年活動の柱としては、普及啓発・環境学習・環境教育の推進、実践活動の推進を柱に1年間実施していきたい。定期的な打ち合わせも行っているので、ぜひ一緒に考え、行動していただきたい。

<芳賀委員から「放置自転車」の取り組みについての報告>

- ・11月18日（日）、第31回「なかはら“ゆめ”区民祭」に参加した。
- ・放置防止啓発として、日常的に「呼びかけ活動」を実施している。七、八年活動を続けているせいか、グリーン色のジャケットを着ていると自転車が逃げてしまうくらい名物化している。ただし、器が足りないので、今後は新駅側に整備される二ヶ領用水駐輪場を利用していただければと考えている。
- ・11月12日（木）、24日（火）に武蔵小杉駅周辺と新丸子駅周辺において放置自転車台数調査を実施した。
- ・東電わきに開放されていた駐輪場を閉鎖した。代替として、旧市民館1階の駐車場を、解体するまでの間、臨時駐輪場として使用させていただくこととなった。
- ・11月30日（月）に「中原区自転車等駐車対策推進協議会」に参加し、横須賀線新駅前に建設中の「JR武蔵小杉駅自転車等第3駐車場」が開設される旨、報告が

あった。これにより1400台の駐輪場所が確保されるが、利用者のモラルが関係してくるので、そううまくいくものではないと受けとめている。

- ・再開発区域の中で放置自転車規制区域の対象となっていなかった向河原駅までの道路が3月1日より規制区域として試行されるようである。また、二ヶ領用水駐車場以南の大乗院裏の自治会館角から南武線沿線道路までの間を可能な限り整備すべく、工事が行われているとの報告も受けた。今回はオートバイの駐車スペースも確保され、かつ自転車用のラックが整備されることにより、野方図に駐車されていた自転車問題が一気に解決に向かうと思う。
- ・1月に「放置自転車のないまち通信」3号を回覧した。

(4) 区民会議交流会について

<藤枝委員長から7区区民会議交流会についての報告>

- ・7区区民会議交流会は、第1期自治推進委員会から各区の区民会議の委員同士が学び合いながら、互い協力し合って取り組みを発展させるため、各区の区民会議の交流を行うとの提言がされたことにより開催されるものである。今回は、各区の委員が集まり、互いの取り組み状況について意見交換しながら、運営方法の情報交換を行うとともに相互の連携を深めることで今後の区民会議の発展につなげていきたい。
- ・開催時期は平成22年3月14日（日）の午後1時から、開催場所は中原市民館多目的ホール。参加者は、各区から3名の正副委員長を予定していたが、竹井副委員長は当日同時開催される自治推進フォーラムの委員長を務めるため、かわりに横川協働推進事業検討部会長に出席願いたい。その他、市長を初め総合企画局長、各区長が参加予定である。今後各区の参加者代表が集まり、第2期区民会議の運営等や第3期に向けて他区の区民会議委員と意見交換をしたい内容について、適切なテーマを二、三選定する予定である。